

【生活排水】

方針1 地域に応じた生活排水処理の推進

取り組み・事業等	事業内容 (R3年度)	指標							達成度 (R3年度)	課題・方向性	担当課
		名称	単位	上段：目標値、下段：実績値							
				R2	R3	R4	R5	R6			
汚水処理施設の整備	・下水道整備として、西部、中部、北部、新津、東部の処理区で約2.3kmの管渠整備。 ・目標値については、令和元年度から令和10年度までの下水道中期ビジョンに基づいているため、下水道中期ビジョンの中間評価に合わせて見直しを行う予定。	汚水処理人口普及率	%	88.9	89.1	90.4	90.5	90.6	A	R2年度に、総合的な汚水処理の推進として、市街化調整区域を対象とした下水道整備区域の見直しと、下水道整備区域外の既存住宅については、下水道接続と同水準の費用負担となる新たな浄化槽設置補助制度を創設し、未普及地域の早期解消と持続可能な汚水処理運営を目指すこととした。また、市街化区域においても未普及地域の早期解消に向けた検討が必要となっている。	下水道計画課
対象世帯への指導・啓発	市内の下水道未接続世帯に対し、戸別訪問接続勧奨を実施。	下水道未接続世帯への戸別訪問接続勧奨	%	20	40	60	80	100	B	新型コロナウイルス感染拡大により、一時訪問勧奨活動を見合わせたため、目標を下回ったが概ね達成できた。令和4年度についても、計画的な訪問勧奨活動に努め、目標を達成する。	西部地域 下水道事務所
				12.1	38						

方針2 効率的で効果的な生活排水処理施設の構築

取り組み・事業等	事業内容 (R3年度)	指標							達成度 (R3年度)	課題・方向性	担当課
		名称	単位	上段：目標値、下段：実績値							
				R2	R3	R4	R5	R6			
し尿処理施設の整備・統合・廃止の検討	阿賀北広域組合清掃センターの停止に向けて、関係自治体と組合において協議を重ねた結果、他施設代替処理の方向性が固まり、R3年末の施設廃止が決定。代替処理移行にあたり、搬入業者等と協議や調整を実施。	処理量減少・施設老朽化を踏まえた検討推進		方針決定 議会・地元 説明	阿賀北 停止	検討 方針決定	準備	準備	A	阿賀北広域組合清掃センターし尿処理施設は停止し、他施設での代替処理に移行した。今後は、R4年度策定予定である「新潟県汚水処理の事業運営に係る広域化・共同化計画/下水施設でのし尿処理」に基づき、方針決定や準備を進める。	循環社会推進課
公共下水道等の施設活用	「新潟県汚水処理の事業運営に係る広域化・共同化計画」策定に向けた協議会において、し尿・浄化槽汚泥の下水道施設での共同処理について、要望を提出し、協議を開始した。	「新潟県広域化・共同化計画」における「下水施設でのし尿処理」の検討推進		協議開始	検討	検討 方針決定	準備	準備	A	R4年度策定予定である「新潟県汚水処理の事業運営に係る広域化・共同化計画」に基づき、方針決定や準備を進める。	循環社会推進課
				協議開始	検討						

方針3 環境保全のための広報啓発の推進

取り組み・事業等	事業内容 (R3年度)	指標							達成度 (R2年度)	課題・方向性	担当課
		名称	単位	上段：目標値、下段：実績値							
				R2	R3	R4	R5	R6			
環境保全活動の周知	・環境の状況や身近にできる具体的な取り組みを紹介する環境総合サイト「エコやろてば!」による情報発信を実施。 ・市民団体や企業の活動をPRする「にいがた市民環境フェア」の開催は、新型コロナウイルス感染症の影響により縮小開催。	情報発信の実施		実施	実施	実施	実施	実施	B	・にいがた市民環境会議は、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動ができなかった団体が多かったため、今後は、感染症影響下における活動の再開や活性化が図れるよう支援する。	環境政策課
環境教育の充実	・環境学習を推進するため、環境教育副読本を作成。 小・中学校副読本：計14,300部作成、172校配布 ・「ESD環境学習モデル支援校」13校の指定及び支援。 ・ESD教員向け研修会をオンライン形式で実施。	環境教育の支援		実施	実施	実施	実施	実施	B	環境教育副読本は、小中学校での1人1台端末整備を受け、デジタル化等を含めた見直しを検討していく。また、ESD環境学習モデル支援校に関しては、支援校が固定化しており、他校への普及が課題となっているため、普及体制の検討が必要である。	環境政策課
				実施	実施						